

日本遺産の申請について

1 主旨

日本遺産の認定に向けて、三遠南信地域連携で作成したストーリーを文化庁に申請する。

2 経過

平成 28 年 2 月	第 23 回三遠南信サミット 2016in 東三河において「日本遺産をめざす」サミット宣言
(現在まで)	豊橋市・飯田市・浜松市による申請に向けた協議を継続
平成 30 年 1 月 26 日	代表市町村 (浜松市) から静岡県教育委員会へ申請 (提出済)
平成 30 年 2 月 1 日	各都道府県教委から文化庁への申請期限
平成 30 年 4 月下旬	文化庁から認定の可否公表 (予定)

3 申請の概要

(1) ストーリーのタイプ

「シリアル型 (ネットワーク型)」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開し、構成文化財はシリアル型を構成する各市町村に所在する。

(2) ストーリーのタイトル・概要

「飯田線レイルロードムービー」— 海拔 0m から 3,000m まで、日本の中央秘境を巡る—
…三遠南信地域を日本中央部につらなる秘境に見立て、飯田線をストーリーの基軸にしなが、周辺の記念物や建造物等、豊かな自然と古き日本の営みを残す郷を訪ねるとともに、地域で継承されている多様な無形民俗文化財 (民俗芸能) を案内する。

4 申請内容に関する協議の経緯

- ▶ 圏域内 3 県の市町村を代表して、豊橋市・飯田市・浜松市の関係課が定期的に協議。
- ▶ 「日本遺産が 100% 観光政策である」とする文化庁の方針を受けて、365 日いつ訪れても見学できる有形文化財・記念物 (いわゆる不動産文化財) を中心とし、開催日 (見学日) が限定される無形民俗文化財 (民俗芸能) をオプションとした。
- ▶ 広域な三遠南信地域固有の魅力をストーリーに表現するため、構成文化財を厳選し、過去 3 年間の日本遺産認定では事例のない鉄道を基軸とした内容を提案した。
- ▶ その結果、厳選した構成文化財 40 件の所在する 20 市町村のみによる申請となった。(仮に認定されれば、後年度に追加申請をすることは可能。)

参考① これまでの日本遺産認定

- ・平成 27 年度開始、過去 3 年間で累計 54 件を認定済。
- ・平成 32 年の東京オリパラまでに 100 件を認定する。残りの 3 年間で 46 件程度。
- ・現在までに認定が無い都道府県は、7 都県。
(岩手県・東京都・静岡県・山梨県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)

参考② 三遠南信地域の構成文化財分布図

・申請市町村 (◎印は代表市町村)

静岡県:◎浜松市、湖西市

愛知県:豊橋市、田原市、豊川市、新城市、蒲郡市、東栄町、設楽町、豊根村

長野県:飯田市、天龍村、阿南町、阿智村、大鹿村、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、箕輪町、辰野町

- 飯田線 ○ 印拠点駅
- 記念物・有形文化財 25 件
- ☆ 無形民俗文化財 15 件

